

# 防災会からのお知らせ

## エレベータ緊急時応急処置訓練

2005年7月の千葉県北西部地震では、東京都内で震度5強の大きな揺れを観測しました。その際、建物の被害は、火災2件のみでしたが、交通機関の運転停止や、エレベータの閉じ込めなど、都市型災害の発生が顕在化しました。

エレベータについては、都内の12万3千台のうち、3万9千台が停止し、42台のエレベータで閉じ込めが発生しました。閉じ込めからの救出にかかった時間は、通報後平均約50分で、最長170分であったそうです。震度5強でこの程度ですから、大規模な地震の際は、消防は消火や倒壊家屋からの人命救助等の対応に追われ、エレベータからの救出に向かうことができないと想定されます。また、エレベータ保守会社も公共施設や病院などから優先的に確認作業に入ると考えられます。そこで「自分のまちは自分たちで守る」基本理念から、その対策としてグリーンシティ独自の救出体制の整備が必要だと考えました。

しかし、今回の救出訓練が一朝一夕に実現できたわけではありません。訓練実現までには以下のような多くの問題点があり、我々はその一つひとつを乗り越え今回の訓練の日をむかえることができました。

### 【問題点の一例】

一般人による安易な救出は危険を伴うため、安易に訓練のレクチャーはできない。継続してその任に当たってもらえる体制が無ければ、指導する側も責任が持てない。

救出時の保守会社との連絡体制構築

グリーンシティ独自の救出マニュアル化 等

今後も定期的に訓練を開催しますのでご協力よろしく申し上げます。

## これだけはおぼえておきましょう

地震が起きたら、非常ボタンを押す前に、真っ先に「全ての階」を押し近くの階で止まれば速やかに脱出する。安易に乗り続けない。これが閉じこめに合わない唯一の方法です。

